

都内の中古マンション投資

今が最大のチャンス

「都内の中古ワンルームマンションは今が買い時」。

マンションの大量売れ残り、米サブプライム（高金利型）住宅ローンショック、新興不動産の相次ぐ経営破綻など不動産投資への逆風が吹くなか、「優良物件の放出、低い調達金利、高い投資利回り」と条件がそろった今こそ最大のチャンス」と訴えるのは、不動産賃貸管理で20年の経験をもつ日本財託の重吉勉社長の写真。

「年金問題を考えると老後の準備を怠れば厳しいものがある。長期的・安定的に収益を生む不動産投資で、老後の不労収入を得る

日本財託社長の自費出版本人気



第一歩を踏み出してほしい」と6月、小冊子「貯めたお金で賢く2倍に増やす」を自費出版した。

同社に不動産管理を任せるとオーナーや税理士らに配ったほか、「一人でも多く

の人に読んでもらいたい」ため、東京・丸の内丸善に本を置いたら週に200冊がなくなり、ホームページでプレゼントを告知したら1日当たり40〜50冊の申し込みがあるという。2万冊を刷ったが、2カ月足らずで残り6000冊という人気本になってしまった。

重吉社長は「転売による値上がり益などですぐに2〜3倍になるという儲かる話、うまい話ではない。利回りを計算できる家賃収入でこつこつと増やす」ことの重要性を説く。借金返済

後の家賃収入は丸々利益になるのがマンション投資。副題にある「100万円からはじめる都内中古ワンルームマンション投資」がなぜ今、賢い投資法なのかは本を読んでいくとわかる。

9月には第2弾として「アパート・マンション、家さん必見！賢く儲け『賃貸管理術』」入居率%を誇る賃貸管理会社のウハウ大公開」を発売するという。